

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 金田宣文 (藤田 宜久)	内線	4389 (4399)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約4.0億円
		特定交通安全施設等整備事業 (一)山南中線	丹波市山南町谷川	うち用地補償費	約2.9億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
丹波市山南町谷川				平成18年度	平成21年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・自転車利用者、歩行者交通量が多く、人と車の輻輳による危険性の高い当路線において、自転車歩行者道の整備を行い、歩車分離を図ることで交通安全対策を推進する。 ・併せて谷川交差点の交差点改良を行う。	自歩道整備(片側) L = 450m W = 3.0m(3.5)m 現況 自歩道なし (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	評価内容
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車2,727台/日、歩行者35人/日、自転車338台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(3件)が発生している。 ・死傷事故率(70.3人/億台km) ・福祉のまちづくり重点地区(谷川地区)内の事業であり、整備計画において、自転車歩行者道の整備が提案されている。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、自転車歩行者道の必要性が提案されている。 ・連続性の確保(前後の整備状況・・起点側の(主)篠山山南線は整備済、終点側も整備済) ・久下小学校、山南中学校の通学路に指定されており、山南中学校の生徒が多数自転車通学を行っている。 ・近隣には、JR福知山線谷川駅、JR加古川線の久下村駅があり多様な交通環境にある。 ・近隣には兵庫パルプ工業の工場群があり、パルプ材料を搬送する大型車交通量が多い(約180台/日)。 ・谷川交差点は、朝夕の通勤通学時には渋滞する交差点(最大渋滞長150m)であり、渋滞交差点解消プログラムにも位置づけられている。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の通学路に指定され、朝夕の通勤通学時には、歩行者と自転車利用者が輻輳し、車道へのはみ出しが発生するなど危険な状況にある。 ・谷川交差点は、朝夕の通勤通学時には渋滞する交差点(最大渋滞長150m)であり、渋滞交差点解消プログラムにも位置づけられている。